



(社)大分県作業療法協会 広報誌

DEN

No.1

2008.12.15発行



広報誌「伝 DEN」の創刊に寄せて

この度、(社)大分県作業療法協会では、リハビリテーションの一翼を担う専門職であります、私ども作業療法士の姿を県民の皆様身近に感じて頂けることを願ってこのような広報誌を創刊しました。今後、年1回発行する予定です。

末永く愛読して頂けるように努力しますので、どうぞ「伝 DEN」を宜しくお願い申し上げます。

会長 佐藤 浩二

目次

インタビュー 大分豊寿苑 児玉 隆典氏	1
インタビュー 大分丘の上病院 山本めぐみ氏	3
患者様・ご家族様からの手紙	5
片手でもできる! 自助具でチャレンジ!!	6



INTERVIEW

大変なんです！

でも、楽しいんです！

～地域に根付くりハビリテーションを目指して～

大分豊寿苑

児玉 隆典 氏

Q 勤務先の概要とそこでの作業療法士の役割を教えてください。

A 大分市東部地区で在宅生活を送られている方を対象に、家まで伺いリハビリテーション（以下、訪問リハ）を提供させていただいています。スタッフは、作業療法士2名・理学療法士1名・言語聴覚士1名です。

私が考える作業療法の役割は、身体機能を十分に把握した上で利用者様の望むことを聞きだし生活に結びつけ、それが“生きがい”になるように生活を支援することが大きな役割だと思っています。

Q どのような方を対象としているのですか？

A 介護保険の中で要介護認定を受けられている方や、国が認める特定の疾患をもたれている方であれば、どなたでも承っています。

Q どのような作業療法を行っているのですか？

A 1週間に数回しかも1回40分の中で、生活で何に困っているのか？どんな気持ちで何を望まれているのか？を会話の中で探り、今できていることを生活に結びつけつつ、さらにどのようにすれば主体的に家の外へ出て行けるのかを常に考えて作業療法を行っています。

以前、担当させていただいたパーキンソン病の80歳代の女性がおられました。彼女はいろんなことを行う能力があったにも関わらず生活の中でやりたいことが見つからなかったため、家でじっとしてることが多くなっていました。ご家族の方に相談すると、以前生け花を習っていたことを知り、次の訪問リハで剣山とお花を用意してみたところ、自らお花をさす様子が見うけられたんです。そこで、市役所からの紹介でボランティアのお花の先生に連絡を取り同伴して頂いた所、非常に興味をしめされ、数回の訪問リハを経たのちデイケアの生け花教室に通うようになったことを体験しました。その方が生活を送る上で生け花という作業を介して、主体的に家の外へ出ることが出来、またその方の生きがいづくりに関われ、作業療法士で良かったなあとつくづく感じました。



Q 作業療法の醍醐味を教えてください。

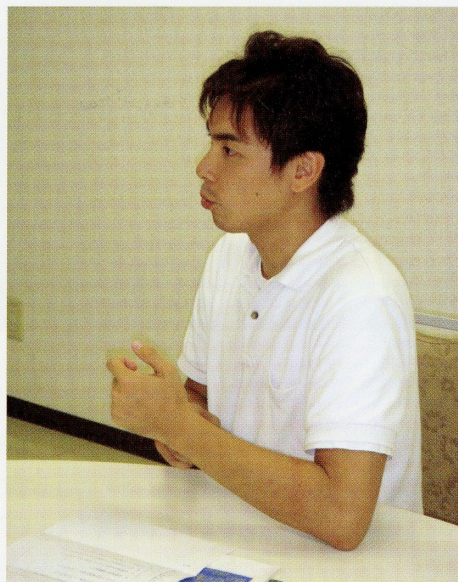
A 利用者様の笑顔が見れたときや、ご家族の方から訪問リハビリテーションのおかげで生活に変化がでてきたと言われたときにやってきて良かったと感じますね。それから、家にいってその方のことをずっと考えられることに幸せを感じます。

Q 作業療法を進める上で、苦労することがあれば教えてください。

A 利用者様の自宅に赴き、「この方にはこうなってもらいたい」という自分の中のイメージがあるのですが、利用者様やご家族の方が持っているイメージと一致しない場合に、どうやってそのギャップを埋めるのか？また、利用者様やご家族のイメージをどのように具体化していくかということに苦労しますね。

患者様の多数は訪問リハビリテーションだけでなく、ヘルパー等ほかのサービスも利用されていることがほとんどで、病院とは異なり、他の職員がいつもそばにいない環境の中にあるんです。そのため、他の職種と情報交換が取りずらく連携を図ることが難しいです。

また訪問リハのことをよく知らない人が多い為、地域への広報活動も同時に行わないといけなく、リハビリテーション以外の仕事も多々あります。



Q 作業療法士を目指したきっかけは何ですか？

A 学生時代にやっていた水泳の関係で整形外科に受診したことがあり、その時の整形の先生からリハビリのことを教えてもらいました。それでリハビリテーションに興味を持ったのがきっかけです。

Q 最後に、今後の夢を教えてください。

A 現在は診療所、老健、訪問看護ステーションからだけしか訪問リハビリテーションを行えないのですが、今後訪問リハステーション※1から訪問リハビリテーションが行けるようになった時、自分で立ち上げ行ってみたいです。また、今はまだ実現することが困難なのですが、利用者様や地域住民の方々からリハビリテーションをやって欲しいという連絡があったときに、すぐに駆けつけることができる掛かり付けのセラピストになりたいです。

最後に、訪問リハビリテーションが大分県でもっとも根付くことが出来たときに、青年海外協力隊で海外へ行って、いろんな国の地域で学んでみたいです。

※1 訪問リハステーション

現在、このような機関・制度はありませんが、具体像としては、お年寄りや障がいなどをお持ちの方々が住みなれている地域で安心して生活していただくために、訪問リハステーションから専門の理学療法士・作業療法士、言語聴覚士が利用者のご家庭を定期的に訪問し、リハビリテーションや療養上のアドバイス等を行う機関の創設が一部で論議されています。



PROFILE

児玉 隆典

2003年3月 大分リハビリテーション専門学校 卒業
2003年4月 医療法人 敬和会 大分岡病院 入職
2004年10月 同法人内 介護老人保健施設 大分豊寿苑
訪問リハビリテーションに従事
…… 現在に至る

※写真の掲載に関しては、本人の了承を得ています。



INTERVIEW

「気分転換できた、 やってよかった」という 作業体験が大切

～精神障がい者と関わり続ける作業療法士～

大分丘の上病院

山本めぐみ 氏

Q 勤務先の概要とそこでの作業療法士の役割を教えてください。

A 140床の精神科単科の病院です。統合失調症の方、うつ病の方や認知症の方もいらっしゃるのですが、思春期の摂食障害や人格障害をもった若い方も比較的多く入院されています。作業療法士は主にそのような方への手工芸やスポーツの提供、また生活支援という形で関わっています。さまざまな活動を行うことで、楽しみの獲得や気分転換をしながら、一旦失った意欲や集中力などの活動力を向上させるように促しています。

Q どのような方を対象としていますか？

A デイケアもあるのですが、当病院の作業療法士は入院の方を主に対象としています。対象としている方で一番多いのは統合失調症の方で、次いでうつ病、認知症の方です。全体の割合からしたら少ないのですが思春期の方も多くおられまして、その方々も作業療法の対象になっています。

Q どのような作業療法を行っていますか？

A 大きく分けると手工芸と体操・スポーツ、それから生活の支援があります。

手工芸では簡単なものになりますとぬり絵やアイロンビーズのようにすぐに出来上がるものから、難しいものではビーズ細工や皮細工、陶芸なども行っています。また若い方が多いので、少し難易度の高い作業も取り入れて、ゆくゆくは趣味や就労につながればと考えて行っています。

体操・スポーツでは年配の方やうつ病で疲労の強い方でもすぐに参加できるように椅子に座った状態でできる簡単な体操から、若い方も多いので外に出てエネルギーを発散できるスポーツ、ソフトボールやサッカー、フットサルなどかなり激しいものまで行っています。

生活の支援では身の周り動作のお風呂に入ることや顔を洗うこと、歯を磨くことなどでも苦手な方がおられますので、そういう方への身の周り動作の意識付けを促し、一緒にそれらの練習なども行っています。また、長く入院していると電車に乗ったり買い物をするなどの外での生活が苦手になる方が多いので、そのような方には一緒に電車に乗ったり買い物の練習をするなどの社会参加の活動を支援しています。

今後就労したい、または復職したいという方々に対して直接的な就労のコーディネートまでは行っていないですが、そこにいき着くまでの体力の回復や精神的な安定を作業療法の中で獲得することに心がけています。



Q 作業療法の醍醐味は？

A 言葉で表現するとやっぱり難しいですね…。でも、私が感じる作業療法の醍醐味は病棟では「何にもできない」「きつい」と言われている人たち、また病気のことばかり考えている人たちが作業療法室にきて手芸などをする中で「あっ、楽しかったなあ」「病気のことを考えないで過ごせたなあ」「気分転換できた、やってよかった」というところを一緒に体験できることかなあとと思います。入院した最初の頃は10分ぐらいしか集中できず、すぐに疲れてしまっていた人がだんだん1時間2時間一緒に作業ができるようになって、また難しいものでもできるようになって、そのような場面で「できるようになって、よかったですね」と喜びを共有できる瞬間が沢山あることですね。

Q 作業療法を進める上で、苦勞することは？

A そうですね。どのような活動でもそうなのですが、入院されて初めは混乱し、やる気も出ない、また考えが上手くまとまらないなどの自信を無くされている方々に、作業療法の場面でも「作業したけどやっぱり上手いかなかったなあ…」という体験で帰られないようにすることです。ですから作業療法で「これできた」「やったー、嬉しい」という体験をしてもらうために、失敗しにくい作業や援助を工夫して提供することが苦勞する点だと思っています。

Q 作業療法士を目指したきっかけは何ですか？

A もともと医療関係に進もうと思っていました。高校時代に病院の一日体験をした時、作業療法と理学療法を見せていただいたのですが、当時は何か「リハビリテーション」というと大変な仕事というイメージを持っていました。ところが、そこは整形の病院だったのですがリハビリテーション室の一角でおばあちゃんたちが楽しそうに手芸をされていて、尋ねると「手が悪いからリハビリテーションをしているのよ」との答えを聞き「リハビリテーションってきついだけではないんだなあ。楽しみながらやれるんだなあ」と思いました。それから作業療法士という職業に興味を持つようになりました。

特に精神科ではその部分が大きく、楽しみながら回復していこうということを常に心がけています。

Q 最後に、今後の夢を教えてください。

A これもまた難しいですね。一つはやはり何か大きいことというよりも、毎回毎回来る患者さんが良くなっていく姿を見るという援助を続けていきたいと思っています。今行っていることを今後もずっと変わらず行っていきたいですね。

もう一つ、当病院は若い患者さんが多いのですが、作業療法をやっている中で「どうやったら作業療法士になれますか？」などという質問をされることが多いです。その理由を聞くと、一度中学生の人に言われたのですが「働いている大人がこんなに笑っているのを見たことがない」というらしいのです。そして、この職業を目指したいということを聞いて本当に嬉しかったです。そのようにこれからも若い患者さんに楽しく生き生きと働く姿を見せて行けたらいいなあと思っていますし、将来彼らが作業療法士を志し、いつか一緒に働けたら嬉しいですね。そういう声が聞けるようにこれからも頑張ります。



PROFILE

山本めぐみ

2002年3月 長崎大学医療技術短期大学部
作業療法学科 卒業
2002年4月 大分丘の上病院 就職
…… 現在に至る

※写真の掲載に関しては、本人の了承を得ています。

患者様・ご家族様からの手紙

実際に現場で働く作業療法士へ患者様・ご家族様からいただいた心温まる手紙です。
大変感激する内容でしたので、紹介させていただきます。



片手でもできる!

自助具でチャレンジ!

自助具とは

体が不自由になった人が、残された機能だけではどうしても行えない動作がある場合に、その動作を可能にする道具です。

(社)日本作業療法士協会ホームページ「作業療法の紹介」より改変

● 洗体タオル

片手では、洗うことが難しい背中や動くほうの腕を一人で洗うための自助具を紹介します。

洗体タオルの作り方

- 準備するもの
・ タオル1枚 ・ ゴム
- 作り方



- ① タオルの片側にゴムを縫い付ける。
- ② タオルの2ヶ所を3つ折にして縫う。
(縫うことにより、泡立てたときにタオルが動かしやすい)



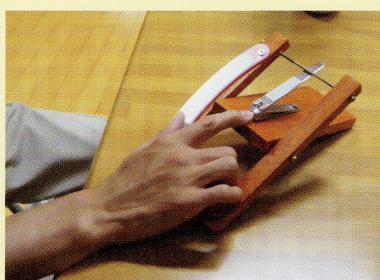
① タオルを蛇口等に引っ掛ける



② タオルを後方に回し、上下左右に動かす

● つめ切り

片手が不自由だと、健康な手の爪を切ることができません。切りたい方の爪を切ることのできる自助具を紹介します。



片手が不自由な人、握力の弱い人が、固定された爪切り台に手をのせて、軽く下へ押すだけで片手で爪を切ることができます。

その他にも色々なタイプの爪切りがあります。

● 自助具を選ぶときの注意点

一人ひとり身体機能も違えば、生活状況も違います。自助具を使用する目的と心身の状態を理解した上で選ぶことが大切です。

自助具を選ぶときには、専門家でもある作業療法士に声をかけてください。きっとお役に立てると思います。

何か、リハビリテーションのことや、作業療法のことでは分からなかったり、
お困りのことがありましたら、下記までご連絡下さい。



圏域	支部	支部長名	勤務先	連絡先
中部圏域	大分支部	山田 康二	大分岡病院	TEL: 097-522-3131 FAX: 097-522-3777
	臼津支部	加嶋 史恵	介護老人保健施設 つくみかん	TEL: 0972-82-8181 FAX: 0972-82-8410
東部圏域	別杵速見支部	田中 英明	黒木記念病院	TEL: 0977-67-1211 FAX: 0977-66-6673
	国東支部	河野慎太郎	国東市民病院	TEL: 0978-67-1211 FAX: 0978-67-3190
北部圏域	中津支部	杉木 知武	川島整形外科病院	TEL: 0979-24-0464 FAX: 0979-24-6258
	宇佐高田支部	瀬戸島 毅	介護老人保健施設 希の里	TEL: 0978-22-1580 FAX: 0978-22-1580
豊肥圏域	大野支部	荒木 良夫	藤華医療技術専門学校	TEL: 0974-22-3434 FAX: 0974-22-5600
	竹田支部	小河 義樹	大久保病院	TEL: 0974-64-7777 FAX: 0974-77-2247
西部圏域	日田玖珠支部	伊賀 信也	聖陵岩里病院	TEL: 0973-22-1600 FAX: 0973-22-1603
南部圏域	佐伯支部	河野 智彦	佐伯中央病院	TEL: 0972-22-8846 FAX: 0972-22-8844

社団法人 大分県作業療法協会 事務局

〒874-0838 大分県別府市大字鶴見4075-1 別府発達医療センター リハビリテーション課内
事務局長 彌田 剛 TEL: 0977-27-2884 FAX: 0977-27-3772